

平成 20 年 6 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社ソフトウェア・サービス  
代表者名 代表取締役社長 宮崎 勝  
(コード 3733 大証ヘラクレス)  
問合せ先 経営企画ユニット次長 梅森 正芳  
(TEL. 06-6350-7222)

## (訂正) 平成 20 年 4 月期 決算短信 (非連結) の一部訂正について

平成 20 年 6 月 13 日に開示いたしました「平成 20 年 4 月期決算短信 (非連結)」について、一部訂正がありましたので、下記の通り訂正いたします。

### 記

#### (訂正箇所)

訂正箇所には、下線を付しております。

1. 1 頁
  3. 平成 21 年 4 月期の業績予想 (平成 20 年 5 月 1 日～平成 21 年 4 月 30 日)
2. 3～4 頁
  1. 経営成績 (1)経営成績に関する分析 (2)次期の見通し)

1. 1頁

3. 平成21年4月期の業績予想（平成20年5月1日～平成21年4月30日）

【訂正前】

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	2,550	20.4	433	△11.8	438	△13.8	254	△15.9	46	99
通期	6,000	<u>16.9</u>	1,341	<u>12.0</u>	1,347	<u>12.9</u>	785	<u>11.7</u>	145	21

【訂正後】

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
中間期	2,550	20.4	433	△11.8	438	△13.8	254	△15.9	46	99
通期	6,000	<u>18.6</u>	1,341	<u>13.7</u>	1,347	<u>14.6</u>	785	<u>13.4</u>	145	21

2. 3～4頁

1. 経営成績 (1)経営成績に関する分析 (2)次期の見通し

【訂正前】

社会保障費が大きな社会問題となっており、医療費の適正化のため、引き続き高齢者医療の見直しや予防医療の強化、長期療養病床の削減等医療制度の見直しは実施されていくと予想されます。年金・医療・介護等の個人情報一元管理する「社会保障カード」（仮称）を導入する方針も政府より打ち出されており、電子カルテシステム等の統合系医療情報システムの必要性は高まり、導入件数は緩やかながらも増加していくと思われま。しかし、政府の政策動向、医療保険制度の見直し、医師不足問題等医療機関の外部環境及び経営環境は厳しさを増しており、足元のシステム投資や設備投資に対し少なからず慎重になっている中、競争力のある有力ベンダー数社による受注獲得競争は一層激しさを増すと予想されます。

このような環境のもと、2009年春リリース予定の「次期バージョン電子カルテシステム」の開発強化はもとより、引き続き、ユーザー病院見学会等を活用したリプレイス市場への参入、グループ病院及び大規模病院への効率的且つ積極的な営業活動を展開するため、営業メンバーも増員してまいります。「ユーザー会」、「ユーザー看護部会」等ユーザーと共有する場の密着度を上げることにより、ユーザーコミュニケーションの強化及び顧客満足度を向上させ、さらに競争力を高められるよう取り組んでまいります。また、社内連携を強化し開発状況を把握しながら展示会の活用等も検討し、機動的に次期バージョンシステムへ営業活動を切り替えられるよう努め、極力買い控え等機会損失を回避し、受注獲得に努めてまいります。

以上の活動を支えるため組織変更を行い、人材・組織の活性化、品質（システム・サービス）の向上、対応の迅速化・効率化等に取り組める社内体制を構築いたします。そして、50名程度の新卒者の採用を目指し、人材の早期戦力化、能力向上に向けて、体系的な教育・研修体制の見直しを含め積極的に取り組んでまいります。

この結果、売上高は6,000百万円（前年同期比 16.9%増）、営業利益1,341百万円（同 12.0%増）、経常利益1,347百万円（同 12.9%増）、当期純利益785百万円（同 11.7%増）を見込んでおります。

## 【訂正後】

社会保障費が大きな社会問題となっており、医療費の適正化のため、引き続き高齢者医療の見直しや予防医療の強化、長期療養病床の削減等医療制度の見直しは実施されていくと予想されます。年金・医療・介護等の個人情報を一元管理する「社会保障カード」（仮称）を導入する方針も政府より打ち出されており、電子カルテシステム等の統合系医療情報システムの必要性は高まり、導入件数は緩やかながらも増加していくと思われます。しかし、政府の政策動向、医療保険制度の見直し、医師不足問題等医療機関の外部環境及び経営環境は厳しさを増しており、足元のシステム投資や設備投資に対し少なからず慎重になっている中、競争力のある有力ベンダー数社による受注獲得競争は一層激しさを増すと予想されます。

このような環境のもと、2009年春リリース予定の「次期バージョン電子カルテシステム」の開発強化はもとより、引き続き、ユーザー病院見学会等を活用したリプレイス市場への参入、グループ病院及び大規模病院への効率的且つ積極的な営業活動を展開するため、営業メンバーも増員してまいります。「ユーザー会」、「ユーザー看護部会」等ユーザーと共有する場の密着度を上げることにより、ユーザーコミュニケーションの強化及び顧客満足度を向上させ、さらに競争力を高められるよう取り組んでまいります。また、社内連携を強化し開発状況を把握しながら展示会の活用等も検討し、機動的に次期バージョンシステムへ営業活動を切り替えられるよう努め、極力買い控え等機会損失を回避し、受注獲得に努めてまいります。

以上の活動を支えるため組織変更を行い、人材・組織の活性化、品質（システム・サービス）の向上、対応の迅速化・効率化等に取り組める社内体制を構築いたします。そして、50名程度の新卒者の採用を目指し、人材の早期戦力化、能力向上に向けて、体系的な教育・研修体制の見直しを含め積極的に取り組んでまいります。

この結果、売上高は6,000百万円（前年同期比18.6%増）、営業利益1,341百万円（同13.7%増）、経常利益1,347百万円（同14.6%増）、当期純利益785百万円（同13.4%増）を見込んでおります。

以 上